

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	葡萄畑	未指定	江戸時代に考案された棚栽培を改良し、平地から急斜面まで見渡す限り葡萄畑が広がっています。明治時代までは甲府盆地東部の勝沼地区に限られていましたが、現在では峡東地域の各地に広がっています。	山梨市 笛吹市 甲州市
②	木造薬師如来像	国指定 重要文化財 (彫刻)	奈良時代の名僧行基の夢の中に葡萄を手にした薬師如来が現れ、その姿を像に刻んで大善寺に祀り、行基がこの地域に葡萄栽培を伝えたと伝説的に語られています。薬師如来は「ぶどう薬師」と呼ばれて親しまれています。通常は秘仏として厨子納められていますが、5年に1度のご開帳の際にはその姿を拝むことができます。	甲州市
③	大善寺	国宝 (建造物)	本堂は鎌倉時代に竣工した山梨県内最古の寺院建築で、②の木造薬師如来像が安置されています。行基が葡萄栽培を伝えたことから、「ぶどう寺」とも呼ばれ、今も寺域で葡萄を栽培しています。また行基説とは別に、鎌倉時代初期に、甲斐国の住人雨宮勘解由がヤマブドウと異なるブドウを発見したのが甲州葡萄のはじまりという説もあります。	甲州市
④	かつぬまとみちょう 勝沼富町のブドウ (甲州種の原種)	甲州市指定 天然記念物	山梨県固有のブドウ品種である甲州葡萄。甲龍 <small>こうりゅう</small> と呼ばれています。山梨のワインを代表する甲州ワインの原料となる品種です。	甲州市
⑤	甲州式棚栽培	未指定	竹を使った棚栽培により、江戸時代中期には甲州は日本一の葡萄生産量を誇るようになり、後に甲州式と呼ばれました。また明治 31 年に丈夫な針金を導入することにより、平地から急斜面まで葡萄を栽培できるようになりました。	山梨市 笛吹市 甲州市

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
⑥	勝沼のぶどう栽培用具及び葡萄酒醸造用具	国登録有形民俗文化財	山梨の葡萄とワインづくりの歴史を語る民俗文化財。個々の道具を観察すると、使い手それぞれの体格に合わせて工夫して造られていることが実感できます。	甲州市
⑦	ひかわえんていぐん 日川堰堤群	未指定	日川の上流に設置された土砂流出防止施設群。大正4年から昭和6年までに⑧の勝沼堰堤を含む13の堰堤が建設されました。これらの堰堤により、下流の田畑は、安定した水はけのよい耕地となり、葡萄畑への転換が進みました。	甲州市
⑧	かつぬまえんてい 勝沼堰堤	国登録有形文化財(建造物)	日川下流の土地を水害から守るために大正4～6年に建設された砂防堰堤。岩盤を巧みに利用し、自然の滝のような景観を作り出し、祇園の滝と呼ばれる地域の名所となっています。日本で初めてコンクリートを使用した砂防堰堤としても知られる⑦日川堰堤群の代表的な存在。	甲州市
⑨	日川治水施設	未指定	日川の流路を固定するために明治44年から昭和6年にかけて建設された土砂流出防止の74基の治水施設。現在、下部は土砂に埋まり、上部のみが葡萄畑の中に石畳のように見えています。周囲の土地は水はけのよい土地に変わり、葡萄畑として利用されています。	甲州市
⑩	葡萄貯蔵庫	未指定	葡萄畑の地面を掘り下げ、石垣を積み、一定の温度と湿度を保つ半地下式貯蔵庫をつくり、収穫した葡萄の保存に使っていました。この写真のものは、奥に見える鉄の扉の奥に葡萄を収納しました。貯蔵庫は、電気冷蔵庫が普及する昭和30年代まで使われていました。	甲州市
⑪	せいはいくじ 清白寺	国宝(建造物)	かつては周囲を水田や桑畑に囲まれていましたが、葡萄畑に転換したことにより葡萄畑の中に寺社が浮かぶような風景となっています。	山梨市

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ(※3)	文化財の所在地(※4)
⑫	うえの 上野家住宅	県指定 有形文化財 (建造物)	武田氏家臣を祖とする豪農の江戸時代初期の武家屋敷。周囲の田畑が葡萄畑に転換したことで、現在では葡萄畑に囲まれた建造物となっています。	山梨市
⑬	こまい 駒井家住宅	未指定	近代の養蚕農家の特徴を持つ突上屋根を持つ甲州切妻型民家。周囲が葡萄畑に囲まれています。養蚕から葡萄栽培の転換を示す建造物。現在も茅葺を維持する牧丘町柚口の代表的な民家。	山梨市
⑭	おおむら 大村家住宅	未指定	近代の養蚕農家の特徴を持つ越屋根付きの民家。周囲が葡萄畑に囲まれています。養蚕から葡萄栽培の転換を示す建造物。	山梨市
⑮	つるた 鶴田家住宅	未指定	近代の養蚕農家の特徴を持つ越屋根付きの民家。周囲が葡萄畑に囲まれています。養蚕から葡萄栽培の転換を示す建造物。	山梨市
⑯	みやざわ 宮沢家住宅	未指定	近代の養蚕農家の特徴を持つ越屋根付きの民家。周囲が葡萄畑に囲まれています。養蚕から葡萄栽培の転換を示す建造物。	山梨市
⑰	佐藤家住宅	国登録 有形文化財 (建造物)	甲州切妻型民家、小屋裏で蚕を飼うために明かり採りの屋根が設けてあります。葡萄畑の広がりにより、周囲が葡萄畑に囲まれています。養蚕から葡萄栽培の転換を示す文化財。	甲州市

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
⑱	養蚕農家の特徴を持つ和風建築ワイナリー	未指定	近代の養蚕農家の特徴を持つ民家で、現在は和風建築ワイナリーとして使われています。 <原茂ワイン株式会社> 越屋根をもつ建物で、軒先まで葡萄棚が張り巡らされています。 <勝沼醸造株式会社> 2階に欄干を設けた建物で、南側に葡萄畑が広がっています。 <丸藤葡萄酒工業> 越屋根をもつ建物で、建物の南側には葡萄畑が広がっています。	甲州市
⑲	歴史的ワイナリー	未指定	日本のワイン産業の黎明期からワイン醸造を行っている創業100年以上の歴史をもつワイナリーや東京オリンピックを契機とするワインブーム以前に創業した50年以上の歴史をもつワイナリー。最新の設備などでワインづくりを行っています。	山梨市 笛吹市 甲州市
⑳	ルミエール旧地下発酵槽	登録有形文化財 (建造物)	本格的なワイン醸造が始まった頃の古い醸造施設で、明治34年に造られた石造りの発酵槽。現在もこの発酵槽が使用されてワインが作られています。	笛吹市
㉑	甲州ワイン	未指定	甲州ブドウを使用したワイン。	山梨市 笛吹市 甲州市
㉒	葡萄酒	未指定	100年以上前に農家を主体としたワインづくりにより地域に根付いた地酒。一升瓶に詰められ、湯呑茶碗で飲むという飾らない飲み方で楽しまれている。	山梨市 笛吹市 甲州市
㉓	いちのみやあさまじんじや 一宮浅間神社	未指定	御祭神の ^{このぼなさくやひめ} 木花開耶姫は酒造の守護神でもあり、県内ワイナリーの約半分が、農作業が始まる時期になると、1升瓶ワインを奉納しています。	笛吹市

構成文化財の写真一覧

① 葡萄畑



② 木造薬師如来像



③ 大善寺



④ 勝沼富町のブドウ（甲州種の本種）



⑤ 甲州式棚栽培



⑥勝沼のぶどう栽培用具及び葡萄酒醸造用具



⑦日川堰堤群



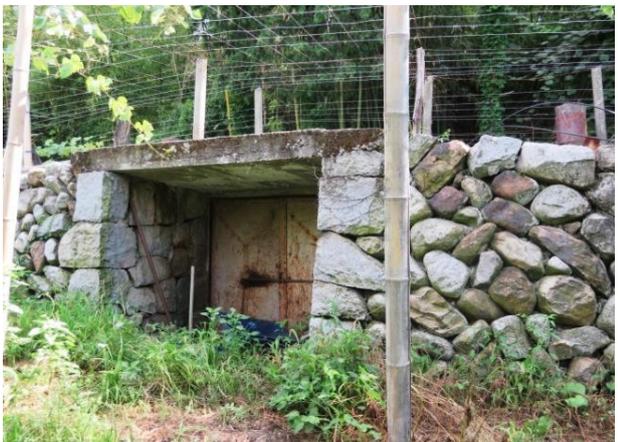
⑧勝沼堰堤



⑨日川治水施設



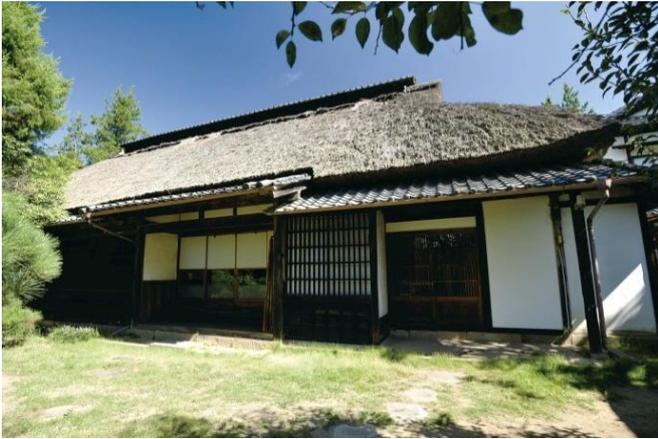
⑩葡萄貯蔵庫



⑪清白寺



⑫上野家住宅



⑬駒井家住宅



⑭大村家住宅



⑮鶴田家住宅



⑯宮沢家住宅



⑰佐藤家住宅



⑱養蚕農家の特徴を持つ和風建築ワイナリー

(原茂ワイン)



(勝沼醸造)



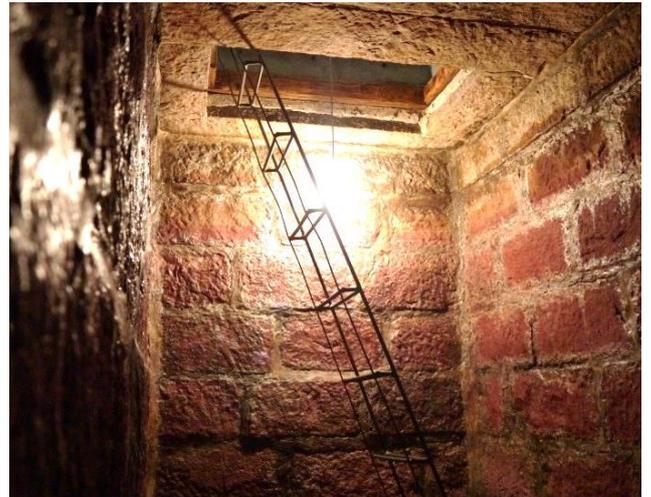
(丸藤葡萄酒工業)



⑲歴史的ワイナリー



⑳ルミエール旧地下発酵槽



②①甲州ワイン



②②葡萄酒



②③一宮浅間神社

